

霧丘南校区 小地域福祉活動第一次計画

目配り 気配り 思いやり

<2024年～2028年の5か年計画>



もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
第2章 霧丘南校区の現状と課題	2
第3章 計画体系	3
第4章 計画の推進	6

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、霧丘南校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、霧丘南校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 霧丘南校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度～令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

霧丘南校区では、13名の委員により6回の協議を行い、本活動計画を策定しました（6ページを参照）。

第2章 霧丘南校区の現状と課題

1 地域の特性や福祉課題

霧丘南校区は、小倉南区と小倉北区の境界近くに位置する重住1・2丁目の地域で、小学生は小倉北区の霧丘小学校に通学しています。校区やその近隣には、JR城野駅や西鉄バスの停留所があり、交通の便が比較的良好な地域です。また、各種商業施設や病院なども近隣に多数存在すること、小倉南区役所や小倉南図書館などの公的施設からも至近であることから、生活面も充実しています。さらに、若宮神社が校区に隣接して位置し、祭礼を中心とした賑わい創出の機能も持っています。校区社会福祉協議会は、自治会や老人クラブ等と協働し、七夕やクリスマスなど、季節に応じた各種の行事を実施し、地域住民による賑わいの場となっています。

しかし、小倉南区内の他の校（地）区と比較すると世帯規模が小さいことや、古くからの住民を中心に少子高齢化が進んでいることから、各団体役員の担い手不足が慢性的な課題となっています。

いっぽう、JR駅至近であることから、新興住宅の開発も継続的に行われ、若年世帯の流入も一定数あることから、新たな担い手の発掘や賑わいの継続が望まれています。

2 人口・世帯数・高齢化率

	2008年 (平成20年)	2013年 (平成25年)	2018年 (平成30年)	2023年 (令和5年)
人口	1,613	1,597	1,586	1,576
世帯数	680	718	741	777
高齢化率	17.5%	20.9%	24.3%	25.3%

出典：住民基本台帳

※各年9月30日現在

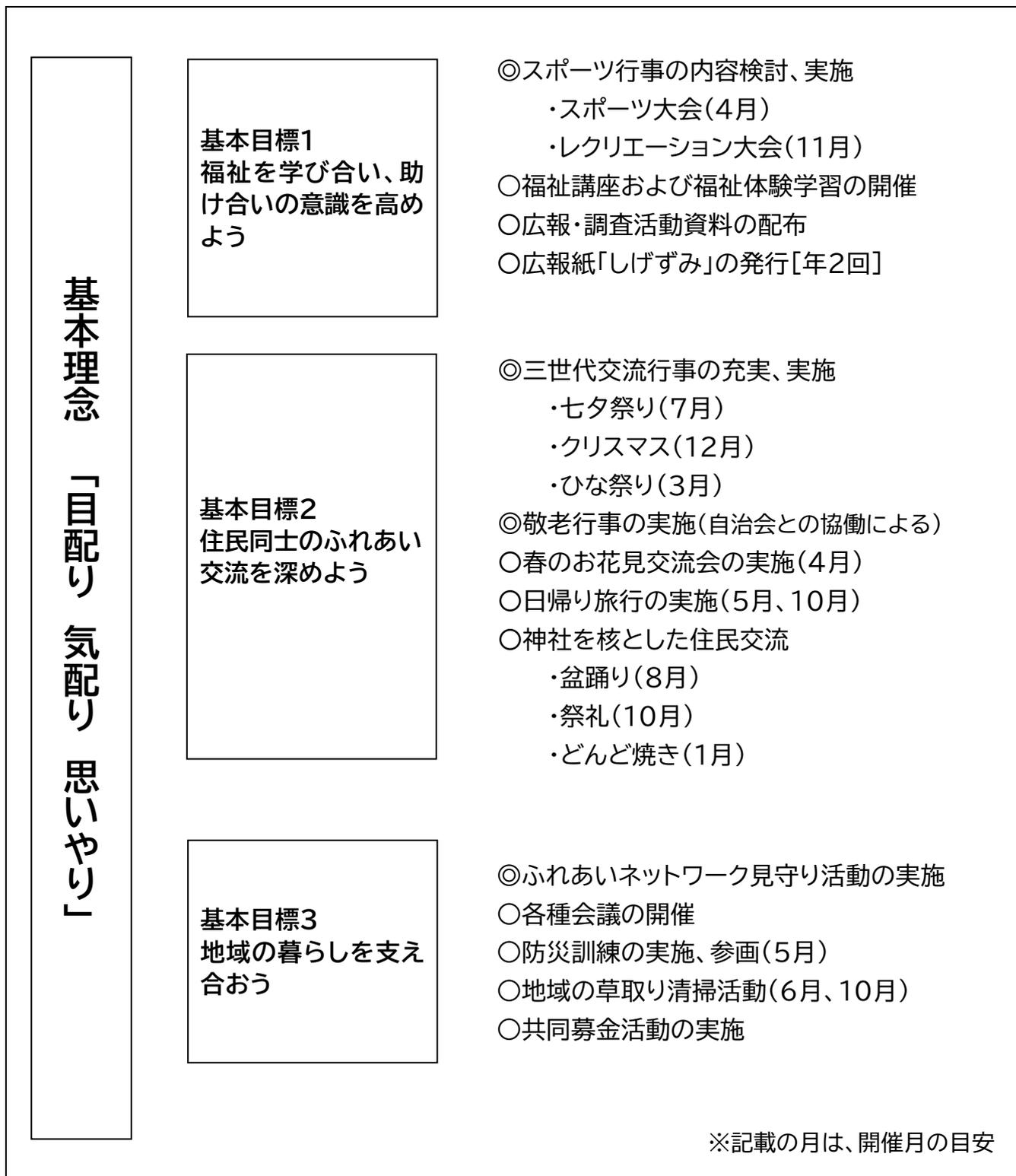
※重住1・2丁目を合算

3 社会資源

学校等	城野保育園 霧丘小学校、霧丘中学校（いずれも小倉北区）
集会所等	重住南年長者いこいの家
福祉施設	みちくさケアセンター
主な商店等	梅の花、ファミリーマート小倉重住二丁目店、七福
その他	重留遺跡 若宮神社（校区外）

第3章 計画体系

1 実施項目（体系図） ◎…重点項目

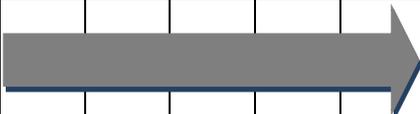
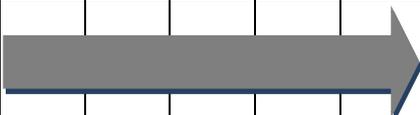


2 重点実施項目

重点実施項目 1		スポーツ行事の内容検討、実施					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
校区では、スポーツ大会、レクリエーション大会を毎年実施し、校区内の賑わいづくりのほか、主に高齢者の健康向上に寄与しており、これらの継続と発展が求められている。							
2 活動の方針・目標							
グラウンドゴルフ（スポーツ大会）や輪投げ、魚釣り（レクリエーション大会）など、現在の内容を踏襲しつつ、参加者の要望や担い手確保のため、新たなメニューの検討も同時に実施する。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
スポーツ大会、レクリエーション大会の実施	社協 自治会 老人クラブ						継続
実施内容の検討							継続

重点実施項目 2		三世代交流行事の充実、実施					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
各種の行事を三世代で実施することにより、地域の活性化が図れるだけでなく、従来地域活動に参加していなかった子育て世帯を巻きこむことで、将来的な人材の育成、確保につなげる。							
2 活動の方針・目標							
従来の行事を踏襲しつつ、時代に即した内容への検討も続ける。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
七夕祭り、クリスマス行事、ひな祭りの実施	社協 自治会 老人クラブ						継続
行事内容の検討							継続

重点実施項目 3		敬老行事の実施(自治会との協働による)					
1 課題・背景(重点項目とした理由)							
当地区においては、社協、自治会等各種団体の役員、活動者が重複していることが多く、各団体との協働は不可欠である。中でも、高齢者を対象とした敬老行事は、高齢者世帯の増加に伴い、重要性を増している。							
2 活動の方針・目標							
自治会との協働により、講演会や体操などの敬老行事を実施し、高齢者の生きがいや健康づくりに寄与する。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
敬老行事の実施	社協 自治会						継続

重点実施項目 4		ふれあいネットワーク見守り活動の実施					
1 課題・背景(重点項目とした理由)							
少子高齢化の進展や、核家族の増加により、独居高齢者や高齢者夫婦世帯(対象者)が増加している。こうした中、対象者を普段から気かけ、ふとした変化に気づいたら、関係機関へつなぐふれあいネットワーク活動による見守り活動の重要性が増している。							
2 活動の方針・目標							
福祉協力員による見守り活動を中心としたふれあいネットワーク活動を継続し、見守りのほか、話し合い、助け合い活動のしくみについても、より良い方法への検討を続ける。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
見守り活動の実施	福祉協力員 民生委員						継続
話し合い、助け合いも含めた活動内容の検討	自治会 老人クラブ						継続

第4章 計画の推進

1 計画の承認・周知

- ① 霧丘南校区社会福祉協議会において、計画書を承認
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、霧丘南校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 霧丘南校区小地域福祉活動計画の策定状況

回	開催日	参加人数	主な協議事項
1	令和5年 5月13日	11人	・小地域福祉活動について ・今後の進め方について
2	令和5年 6月 3日	10人	・基本理念の決定 ・校区行事の洗い出し
3	令和5年 9月26日	9人	・基本目標（3項目）の決定 ・実施項目を列挙 ・社会資源の列挙
4	令和5年11月 4日	9人	・重点実施項目の決定と、内容の検討 ・表紙などの体裁の検討、決定 ・社会資源など、内容の検討
5	令和5年12月16日	11人	・計画書の内容検討
6	令和6年 2月 3日	人	・計画書の最終確認

5 霧丘南校区小地域福祉活動計画策定／計画推進委員会

	氏 名	役 職
1	萬谷 裕之	重住自治会 会長
2	中川 昇	重住自治会 副会長
3	江里口 忠士	重住自治会 副会長
4	上村 耕一	重住自治会 副会長
5	塚本 和洋	社会福祉協議会 会長
6	藤本 紘之	社会福祉協議会 副会長
7	西田 ひとみ	社会福祉協議会 会計
8	江里口 真由美	民生委員・児童委員
9	本田 佐智子	民生委員・児童委員
10	新谷 きぬよ	福祉協力員
11	一丸 理代	福祉協力員
12	田中 繁	福祉協力員
13	松葉 洋美	福祉協力員



霧丘南校区社会福祉協議会

〒802-0811 北九州市小倉南区重住2丁目2番6号
重住南公園内 重住南年長者いこいの家



小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園5丁目1番2号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391



北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウェルとばた内
(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>